

アポプラスキャリア ラーニングカフェ交流会 VOL.10 IN 名古屋

産業保健師のトリセツ 保健師を上手に活用、効果的に協業するためのレシピ



はじめまして名古屋。ついにアポカフェが東海エリアに進出。前日の大阪会場の盛り上がりの熱が冷めやらぬ中、セミナーが幕を開けました。東京でのセミナー2回分を1回にまとめ、産業保健師や人事との協業に課題を抱える企業の解決策を見出しながら、参加者同士の交流も深めました。

他社を知ることが自社を知るチャンス

大阪に続き名古屋のテーマも「産業保健師のトリセツ」。ここを避けて産業保健体制を推進させることはできないのではないかでしょうか。規模も業態も産業保健体制も異なる企業で、どのように産業保健師を活用しているのか…管理職・一般職・産業保健師など25名の参加者同士が「聞いて」「話して」「学ぶ」時間を共有し、それぞれの立場で産業保健師と人事の協業のるべき姿を追いました。

産業保健師と人事、各々が感じる課題

冒頭、自社の産業保健師と人事等との協業の様子を漢字一文字で表した参加者。これだけでも各社の状況がみてとれます。事前アンケートから、彼らが協業する上で「役割や業務範囲の不明確さ」「仕事の進め方・スキル」などに課題を抱えていました。一方で、保健師の専門性を信頼し活用することで、社員のサポートが円滑に進んでいるなどのメリットもあることもわかりました。

連携時に立ちはだかるジレンマを知る

さらに、産業保健師と協業する上でのさまざまな困難も共有されました。背景には、産業保健師と人事担当者間に業務上のジレンマが存在すると久保氏は分析し、お互いが歩み寄る必要性を説きました。参加者はグループでの対話を通して他社を知り自社を捉え直し「産業保健師を自社でどう活用すればいいか」という問い合わせをしました。

中途採用の保健師を変容させるアンラーニング

企業にとって産業保健師は看護師経験を持った中途採用者であることが大半で、即戦力と期待しがちだが、組織再社会化に向けたサポートが必要だと説きました。そして、病院から企業という新しい職場に適応するために6つの課題があるとし、中でも「アンラーニング」に着目し解説しました。懇親会は各所で盛況で、当初開催予定だったおわりセッションが見送られるほど。参加者同士の交流が明日への活力になっていると実感するひとときでした。

開催日時：2025年11月13日 16:00-17:30

会場：ミーティングスペースAP名古屋

講師：久保さやか 保健師

アポプラスキャリア株式会社 エグゼクティブアドバイザー



参加者の感想

普段他社と交流する機会は少ないので、カフェの雰囲気の中でたくさんの方と情報交換でき、他社の悩みも知ることができて有意義な時間でした。



保健師と人事がお互いに歩みよることで理解をはかり、今までの言動や接し方を変えていくことに繋がると感じました。



お問合せ先

アポプラスキャリア株式会社

ヘルスケアソリューション事業部

〒100-0005

東京都千代田区丸の内三丁目3番1号

新東京ビル7階



アポプラスキャリア 株式会社